

第2回意見聴取の結果

意見聴取の概要

○ 第2回意見聴取は、地域住民・道路利用者へのアンケート調査（郵送、配架、WEB、街頭）、及び「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する団体へのアンケート調査及びヒアリング調査を実施。

■ 調査期間

令和6年8月30日（金）～令和6年9月30日（月）

■ 調査方法及び対象

調査種別	対象者	調査手法		配布数 (通)
アンケート	地域住民	郵送	標本調査の手法により、京丹後市内在住者3,000人を無作為抽出し、郵送配布、郵送回収	3,000
	地域住民・ 道路利用者	配架	市役所及び各振興局に調査票を常設、投函箱による回収	—
		WEB	京都府のホームページに開設	—
		街頭	道の駅丹後王国食のみやこ、京都縦貫自動車道由良川PA、道の駅てんきてんき丹後、ショッピングセンターメイン、道の駅くみはまSANKAIKAN、アミティ丹後、京丹後市役所	—

調査種別	対象者	団体数
ヒアリング	<p>「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、各商工会議所、商工会 ○（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社 ○京丹後市区長連絡協議会 ○丹後機械工業協同組合 ○丹後織物工業組合 ○京丹後 宿 おかみさんの会 ○京都農業協同組合 ○京都府漁業協同組合 等 	36団体

意見聴取の概要（アンケート調査票）

■ アンケート調査票

アンケート調査票【回答用紙】

■ ご回答いただくご自身のことについてお聞きします。

○ あなたの性別を、以下から1つ選んでください。

男性 女性 その他

○ あなたの年齢を、以下から1つ選んでください。

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代
 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

○ あなたの住まいる地域を、以下から1つ選んでください。

崎山町 大宮町 網野町 丹後町 弥栄町 久美浜町
 宮津市 伊根町 与野野町 舞鶴市
 その他（ 郡・道・府・県 市・町・村）

○ あなたの職業を、以下から1つ選んでください。

会社員 自営業 公務員・団体職員
 観光業 農林漁業 医療・福祉
 パート・アルバイト 客事専業 学生 無職 その他

○ あなたの自動車の運転頻度を以下から1つ選んでください。

ほとんど毎日 週に2~3回 週に1回程度
 月に数回程度 ほとんど運転しない 運転免許を持っていない

○ あなたの国道178号・国道312号の利用頻度を以下から1つ選んでください。

ほとんど毎日 週に2~3回 週に1回程度
 月に数回程度 ほとんど利用しない

○ あなたの上記道路の利用目的を以下から1つ選んでください。（複数回答可）

通勤・通学 通院 家事・買い物
 仕事・業務 観光・レジャー その他（ ）

1/3

■ 山陰近畿自動車道（網野～久美浜）の計画検討を進めるにあたり、今回お示したルート案についてお聞きします。【説明資料P2~P6】

○ 地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート案は効果的だと思われるか？
 該当するものを1つ選んで、1~5のうち1つに○をつけてください。

1. 効果的だと思う
 2. 概ね効果的だと思う
 3. どちらともいえない
 4. あまり効果的だと思わない
 5. 効果的だと思わない

○ 効果的、あるいは効果的でないと思う理由があればお答えください。

（自由記載）

■ 地域にとって望ましいルート案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？【説明資料P7】

以下の各項目①~⑦についてあてはまる番号1つに○をつけてください。（5段階評価）

項目	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視すべきでない	重視する必要はない
① 農産物等への取付距離短縮による輸送・買入れ等の日常生活が便利になる等、暮らしやすい地域づくりにつながる道路	5	4	3	2	1
② 工業団地や主要交通等とのアクセス向上により、地域産業の活性化につながる道路	5	4	3	2	1
③ 主要観光地とのアクセス向上により、観光振興の促進につながる道路	5	4	3	2	1
④ 事故発生時や自然災害時（台風、豪雨、地震等）に機能する、強いまちづくりにつながる道路	5	4	3	2	1
⑤ 交通事故の削減や運転手の走行性向上につながる道路	5	4	3	2	1
⑥ 環境（生態系、大気・騒音等）や景観、歴史文化（文化財等）への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
⑦ 事業費（コスト）が少ない道路	5	4	3	2	1

2/3

■ その他、ルート案を検討する際に配慮すべき事項があればお答え下さい。

（自由記載）

■ その他、山陰近畿自動車道の整備について、ご意見やご要望がありましたらお答え下さい。

（自由記載）

3/3

意見聴取の概要（アンケート調査票）

■ アンケート調査票 添付資料（1/2）

山陽近畿自動車道（網野町～久美浜町）の道路計画に関するアンケート調査
京丹後市における林道施設等のあり方に関する調査
ご協力をお願いいたします

京丹後市が実施しますアンケート調査は、山陽近畿自動車道（網野町～久美浜町）の計画等に当たり、地域の理解を深めるとともに、道路の整備や維持管理に関するご意見を伺い、計画等に反映させるために行う調査です。

また、地権者が実施しますアンケート調査は、山陽近畿自動車道の全線開通を契機とした観光振興を目的とした「林道施設」のあり方の検討に当たり、その取組に関するご意見を伺うことを目的に行う調査です。

お問い合わせはご遠慮いたしません。アンケートにご回答いただけますようお願い申し上げます。

令和6年9月 京丹後市 京丹後市

回答方法

- ご回答は、各設問の説明に従って、該当する選択肢に「1」を記入ください。
- 何れも該当しない場合は「0」を記入ください。
- 自由記述欄は、自由にご意見を記入ください。
- 調査票にご記入のうえ、宛先の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。（必ず封筒を貼ってください）

令和6年9月30日（月） までにご回答（郵送）してください。

ご記入にあたって

○このアンケートは、京丹後市にお住まいの18歳から79歳までの3,000人の回答を期待しています。お返事がありません。

○調査票に無回答ですべて、個人が特定されることはありません。調査票や返信用封筒にお名前や住所を記入する必要はありません。

○お答えいただいた内容は、統計的に整理し、匿名の形で公表させていただきます。

○このアンケート調査は、各設問及び回答欄が個別無記名方式で実施いたしますので、ご返答先が特定されません。

お問い合わせ先・実施主体
 京丹後市土木部建設 企画課建設課
 電話：0772-22-2143（8:30～17:15 土日・祝日を除く）
 京丹後市 建設部建設課 企画課建設課
 電話：0772-69-0510（8:30～17:15 土日・祝日を除く）

「山陽近畿自動車道」の道路計画に関する第2回アンケート調査
～皆さまのご意見を伺いたす～

調査目的

山陽近畿自動車道は、高規格、高容量、高信頼性の道路ネットワークを形成する道路計画の重要要素として、道路の整備、維持、管理の促進と安全・安心の向上を図ることとを目的として実施いたします。

今回のアンケート調査では、地域の理解を深めるとともに、道路計画に関するご意見を伺い、計画等に反映させるために行う調査です。

※アンケート調査にご回答いただきますようお願いいたします。

第1回アンケート調査では、令和6年7月15日（水）～7月31日（金）にかけて「山陽近畿自動車道建設準備用地図」について、約1,300件のご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

詳細項目の対応状況

計画項目の対応状況

項目	対応状況
第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））	完了
第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））	完了
第3案（一部現道活用案）	完了

P1

網野～久美浜間について、3つのルート帯案を検討しております。
これらについてご意見をお伺いします。

第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））
（自動車専用道路、橋、トンネル、高架橋、歩道、自転車道、バス専用レーン）

・道路幅員が約2.5km程度で、道路の整備、維持、管理の促進と安全・安心の向上を図ることとを目的として実施いたします。

第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））
（自動車専用道路、橋、トンネル、高架橋、歩道、自転車道、バス専用レーン）

・道路幅員が約2.5km程度で、道路の整備、維持、管理の促進と安全・安心の向上を図ることとを目的として実施いたします。

第3案（一部現道活用案）
（一部現道活用、橋、トンネル、高架橋、歩道、自転車道、バス専用レーン）

・道路幅員が約2.5km程度で、道路の整備、維持、管理の促進と安全・安心の向上を図ることとを目的として実施いたします。

P2

ルート帯案の概要【第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））】

- 主要地点である網野市街地、網野橋、久美浜市街地とのアクセスに配慮したルート。
- 自動車専用道路として整備することから、ランニングの確保や安全性・走行性の向上が期待できる。

第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））

延長 約16～19km
 構造物延長 約13～12km
 事業費 約2,000億円～2,450億円

主要地点

- 網野市街地
- 網野橋
- 久美浜市街地

トンネル・高架橋

- トンネル
- 高架橋

道路幅員

- 約2.5km

P3

ルート帯案の概要【第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））】

- 主要地点である網野市街地、水郷・谷工地区、久美浜市街地とのアクセスに配慮したルート。
- 自動車専用道路として整備することから、ランニングの確保や安全性・走行性の向上が期待できる。

第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））

延長 約15～18km
 構造物延長 約11～12km
 事業費 約2,050億円～2,500億円

主要地点

- 網野市街地
- 水郷・谷工地区
- 久美浜市街地

トンネル・高架橋

- トンネル
- 高架橋

道路幅員

- 約2.5km

P4

ルート帯案の概要【第3案（一部現道活用案）】

- 国道17号で2区間計2.9kmを現道活用したルート。
- 一部現道を活用するため、コスト削減が期待できる。
- 地域交通や観光交通、通勤交通の分離ができるため、走行性・安全性に配慮がある。
- 橋脚構造が街区間格化するため、運転者を混乱させ、交通の快速性にも課題がある。

第3案（一部現道活用案）

延長 約17～20km
 構造物延長 約9～13km
 事業費 約1,900億円～2,350億円

主要地点

- 網野市街地
- 久美浜市街地

トンネル・高架橋

- トンネル
- 高架橋

道路幅員

- 約2.5km

P5

意見聴取の概要（アンケート調査票）

■ アンケート調査票 添付資料（2/2）

ルート案の考え方

○ルート案は、**自動車専用道路整備（別線整備）** 及び **一部現道活用** の2種類を検討する。
 ○各ルート案は、政目別の達成に向けて設定した評価項目に沿って評価する。
 ※各ルート案案の比較評価（P7）をご確認ください。

● **自動車専用道路整備（別線整備）**

【考え方】

- 到達性・定時性の確保や地区内の交通と観光交通、通過交通を適切に分離するためには、**別線での自動車専用道路として整備**を行うことが有効。
- ルート案は接続すべき主要拠点や回避ポイント（コントロールポイント）を設定し、回避が困難なポイントは配慮ポイントとして留意する。

● **一部現道活用**

【考え方】

- **事業性（工期、事業費等）**を考慮すると、現道を活用した整備を行うことが有効。
- **対面2車線で併用されている国道170号**において現道活用を検討。
- 現道活用区間は60km/hの限用構造を満足する区間とし、沿線集落の生活環境保全のため、沿道に集落のない区間かつ事前通行規制等がないネットワークの信頼性・強固性が確保されている区間を抽出する。都市交通通行規制等

第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））
 第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））
 第3案（一部現道活用案）

網野〜久美浜間のルート案の比較評価（特徴）

項目	第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））	第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））	第3案（一部現道活用案）
経路	網野IC～久美浜IC	網野IC～久美浜IC	網野IC～久美浜IC
区間	網野IC～久美浜IC	網野IC～久美浜IC	網野IC～久美浜IC
整備区間	網野IC～久美浜IC	網野IC～久美浜IC	網野IC～久美浜IC
整備内容	自動車専用道路整備	自動車専用道路整備	一部現道活用
事業費	約100億円	約100億円	約50億円
工期	約5年	約5年	約3年
到達性	高	高	中
定時性	高	高	中
環境配慮	中	中	高
安全性・走行性	高	高	中

第1回意見聴取にご協力頂きありがとうございました。皆さまにお聴きしたご意見の結果をご紹介します。

● Q1. 自動車専用道路整備と一部現道活用、どちらのルート案を支持しますか？

● Q2. 自動車専用道路整備と一部現道活用、どちらのルート案を支持しますか？

● Q3. 自動車専用道路整備と一部現道活用、どちらのルート案を支持しますか？

※ 意見聴取の開催日時等に関する詳細情報は、以下の「第1回意見聴取報告書（網野〜久美浜）」の添付資料（P10）に掲載しております。

QRコード
 URL: <https://www.pref.apollo.jp/chem/master/masterpage/index2.html>

皆さまからいただいたご意見も踏まえて5つの政策目標[※]を設定しました。

※政策目標・・・政策（対策）の実施により、実現しようとする目標

政策目標	① 観光	② 産業	③ 観光	④ ネットワーク確保	⑤ 安全性・走行性
持続可能で暮らしやすい地域づくり	3次産業系集落の空白地域で、観光に30分以上を要する。経済活動や地域コミュニティの維持。	高津に30分圏に含まれない工業団地が存続し、新規工場も誘致。豊かな自然環境が維持されるが、観光客の増加による定時性の確保が必要。	観光地間の連携を促進する観光地間の連携。観光地間の連携を促進する観光地間の連携。	事故や災害による通行止めが頻りに発生し、大規模な迂回が必要。	カーブ・縦向き小さな区間が存在し、走行性に課題。
地域産業の活性化	3次産業系集落への投資が不十分。少子高齢化・人口減少の進展。	企業活動や農水産品輸送を支援する道路の確保。観光地間の連携を促進する観光地間の連携。	観光地間の連携を促進する観光地間の連携。観光地間の連携を促進する観光地間の連携。	信頼性のある道路がない。代替道路が不十分。	カーブ・縦向き小さな区間が存在し、走行性に課題。
観光振興の促進					
事故、災害時にも機能するネットワークの確保					
安全性・走行性の向上					

今後、山陰近畿自動車道のルートをより詳細に検討する上での配慮イメージについて

【新設道路整備イメージ図】

● 自然環境への配慮イメージ
 ● 景観への配慮イメージ
 ● 地質リスクへの配慮イメージ

● 自然環境への配慮イメージ
 ● 景観への配慮イメージ
 ● 地質リスクへの配慮イメージ

意見聴取の概要（広報）

■ 記者発表（R6.8.27）

京都府 報道発表資料

府政記者室、丹後広域振興局 同時資料配付

募集のお知らせ

令和6年8月27日

山陰近畿自動車道への御意見をお聞かせください

ー 網野～久美浜の道路計画に関する第2回アンケート調査、8月30日からー

■ 京都府では、山陰近畿自動車道（網野～久美浜）のルートを検討するにあたり、地域の皆様等からの御意見を伺うため、8月30日～9月30日までアンケート調査を実施しますので、周知をお願いします。

1 調査期間
令和6年8月30日（金）～9月30日（月）

2 調査方法

(1) 郵送アンケート
京丹後市内在住の18～79歳の3,000人（無作為抽出）に調査票を郵送
※調査票は8月30日（金）から順次発送
※郵送アンケートのみ、京丹後市による休憩施設等のあり方に関する調査も同時実施予定

(2) WEBアンケート
京都府ホームページ「山陰近畿自動車道第2回アンケート調査」からアクセス
URL：<https://www.pref.kyoto.jp/doro/saninkinkiepxpy-anke2.html>

(3) 配架アンケート
市役所等に配架されたアンケート調査用紙に記入し、回収箱に投函
【設置場所】
京丹後市役所（峰山庁舎、大宮庁舎、網野庁舎、丹後庁舎、赤染庁舎、久美浜庁舎）、
宮津市役所、伊根町役場、与謝野町役場、
丹後広域振興局（峰山総合庁舎、宮津総合庁舎）

(4) 街頭アンケート
道の駅、市役所等で街頭アンケートを実施
【実施日、場所】
令和6年9月 2日（月）：京丹後市役所（網野、久美浜庁舎）
令和6年9月 3日（火）：京丹後市役所（峰山、丹後庁舎）
令和6年9月 6日（金）：アミティ丹後（京丹後市網野町網野367）
令和6年9月 6日（金）：ショッピングセンターメイン（京丹後市峰山町新町1606-1）
令和6年9月 9日（月）：京丹後市役所（大宮、赤染庁舎）
令和6年9月10日（火）：京丹後市役所（網野、久美浜庁舎）
令和6年9月14日（土）：道の駅 くみはま SANKAIKAN（京丹後市久美浜町蒲町1709）
令和6年9月14日（土）：道の駅 てんきてんき丹後（京丹後市丹後町竹野313-1）
令和6年9月22日（日）：道の駅 丹後王国食のみやこ（京丹後市赤染町島取123）
令和6年9月22日（日）：京都経真自動車道 由良川PA（舞鶴市宇地塚小字平道134-3）
※雨天等により実施日を変更する場合があります。

【本報道発表に関するお問合せ】

建設交通部道路計画課 課長 俣島	TEL 075-414-5241
主幹兼係長 杉谷	TEL 075-414-5248

■ ポスター展示（配架）

山陰近畿自動車道について

ご意見をお聞かせください

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）の計画の検討にあたり、第2回アンケートを実施しています。

3つのルート案を検討しています。「地域の課題を解消するために効果的な案であるか」などについて、ご意見を伺っています。

第1案（自動車専用道路整備案（Aルート））
（主要拠点である網野市街地、観光拠点、久美浜市街地とのアクセスに配慮したルート）

第2案（自動車専用道路整備案（Bルート））
（主要拠点である網野市街地、水原・住工業団地、久美浜市街地とのアクセスに配慮したルート）

第3案（一部環状道活用案）
（国道178号の環道を一部活用するルート）

アンケートはスマートフォンからでも回答可能です。

ご協力よろしくお願ひします。

調査期間：令和6年8月30日（金）～9月30日（月）

TEL：0772-22-2143
FAX：0772-22-2143

■ 市報による広報（広報京丹後おしらせ版）

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）のアンケートにご協力を

頂いたご意見は、網野から久美浜までのルート検討を進める際の参考とさせていただきます。

【郵送アンケート】
18～79歳まで3,000人の方を無作為に抽出してアンケート票を配布しています。

☎ 5月31日（金）まで

【WEBアンケート】
☎ 5月31日（金）まで

【アンケート用紙設置】
☎ 丹後広域振興局、市民局

【街頭アンケート】
☎ 市民局で実施しています。

☎ 丹後土木事務所企画調整課
(TEL 0772-22-2143)

管理課 (TEL 0772-69-0510)

■ 京都府HP

山陰近畿自動車道 第2回アンケート調査

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）の第2回アンケート調査について

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）のルートを検討するにあたり、皆様の御意見を伺うため、アンケート調査を実施しますので、是非、ご協力をお願いします。

お答えいただいた内容は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

アンケート調査対象区間、ルート案について（PDF：3,292KB）

意見聴取の概要（実施状況）

■街頭アンケートの実施状況



▲京都縦貫自動車道由良川PA



▲アミティ丹後



▲道の駅 丹後王国食のみやこ

■配架アンケートの実施状況



意見聴取の結果（アンケート回答数）

■ 調査の結果

1,767人（回答総数）

■ 郵送+WEBアンケートの結果

調査種別	対象者	調査手法	実施期間	配布数 (通)	回答数 (通)	回答率 (%)
アンケート	地域住民	郵送	令和6年8月30日（金）	3,000	1,039	34.6
	地域住民・ 道路利用者	WEB	～ 令和6年9月30日（月）	－	222	－

■ 街頭アンケートの調査結果

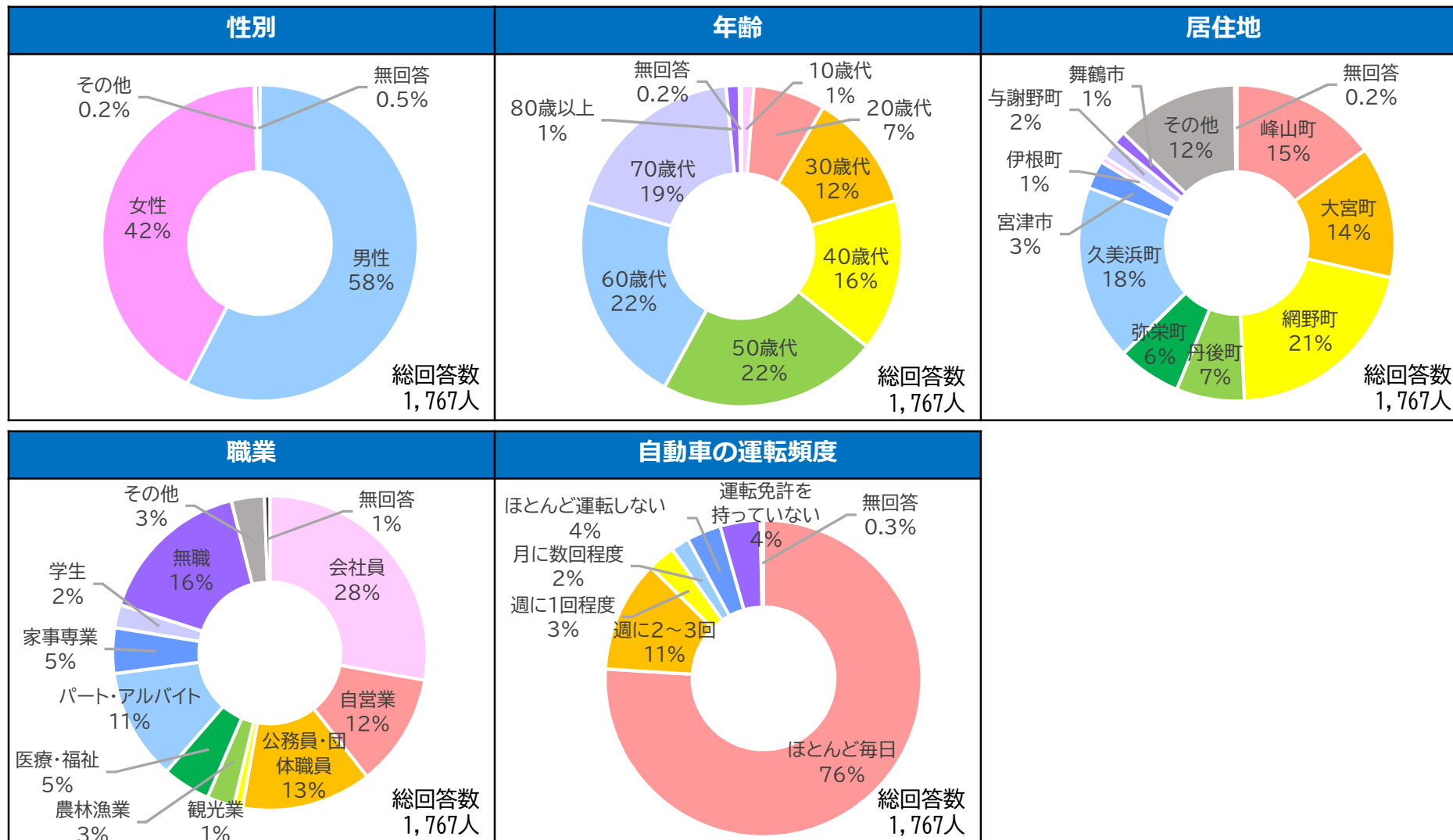
実施場所	実施日	回答数（通）
京丹後市役所（網野庁舎、久美浜庁舎）	令和6年9月2日（月）	41
京丹後市役所（峰山庁舎、丹後庁舎）	令和6年9月3日（火）	38
アミティ丹後、ショッピングセンターマイン	令和6年9月6日（金）	92
京丹後市役所（大宮庁舎、弥栄庁舎）	令和6年9月9日（月）	24
京丹後市役所（網野庁舎、久美浜庁舎）	令和6年9月10日（火）	36
道の駅くみはまSANKAIKAN、道の駅てんきてんき丹後	令和6年9月14日（土）	55
道の駅丹後王国食のみやこ、京都縦貫自動車道由良川PA	令和6年9月22日（日）	102
		合計：388

■ 配架アンケートの調査結果

実施場所	実施期間	回答数（通）
京丹後市役所 （峰山庁舎、大宮庁舎、網野庁舎、丹後庁舎、弥栄庁舎、久美浜庁舎）	令和6年8月30日（金）～ 令和6年9月30日（月）	40
宮津市役所、与謝野町役場、伊根町役場		62
丹後広域振興局 （宮津総合庁舎、峰山総合庁舎）		16
		合計：118

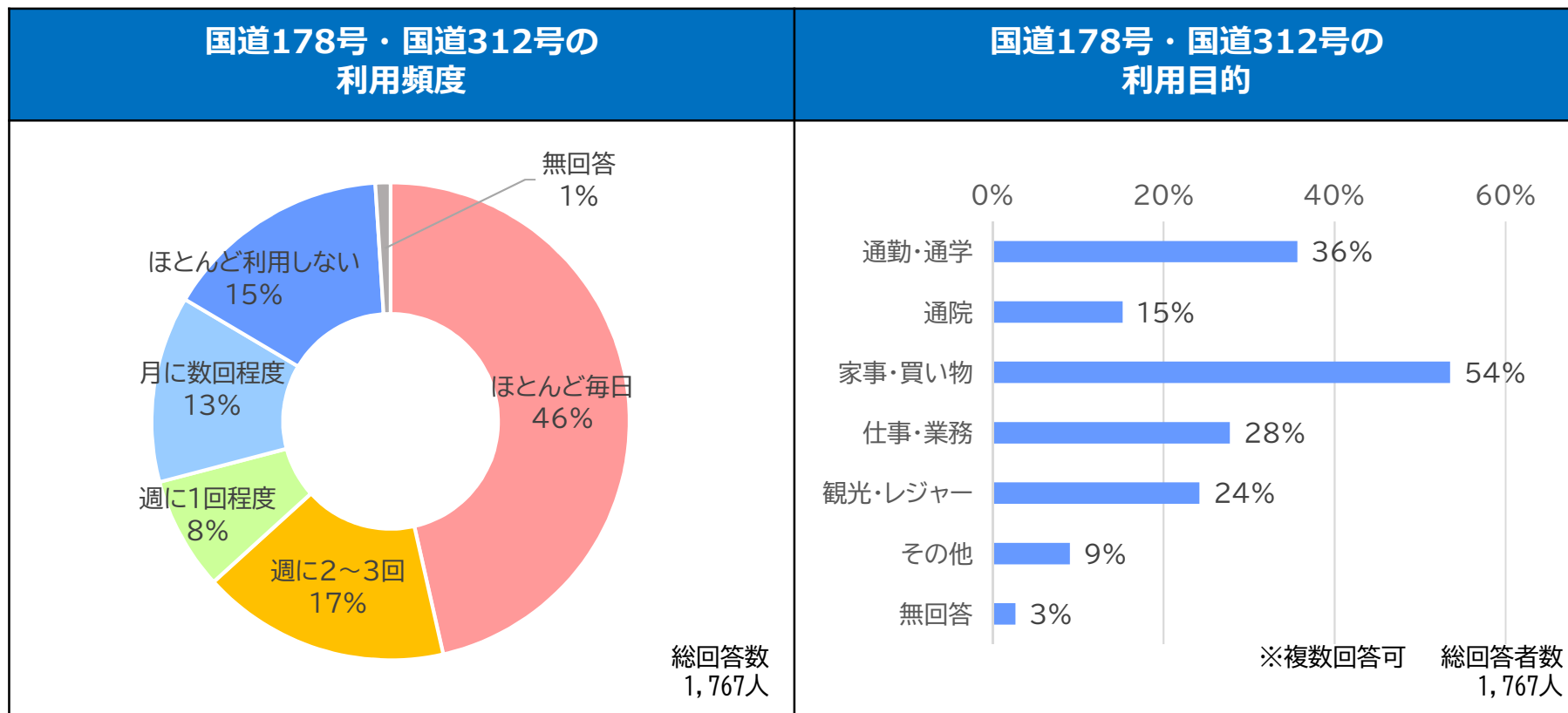
意見聴取結果（アンケート回答者の属性①）

- 回答の男女比率、年齢比率に大きな差はなく、また居住地についても計画対象地域である京丹後市内の回答を多く得ており、概ね正確な調査結果が得られていると考えられる。
- **自動車の運転頻度は、「ほとんど毎日」と「週に2～3回程度」の合計が約9割を占める。**



意見聴取結果（アンケート回答者の属性②）

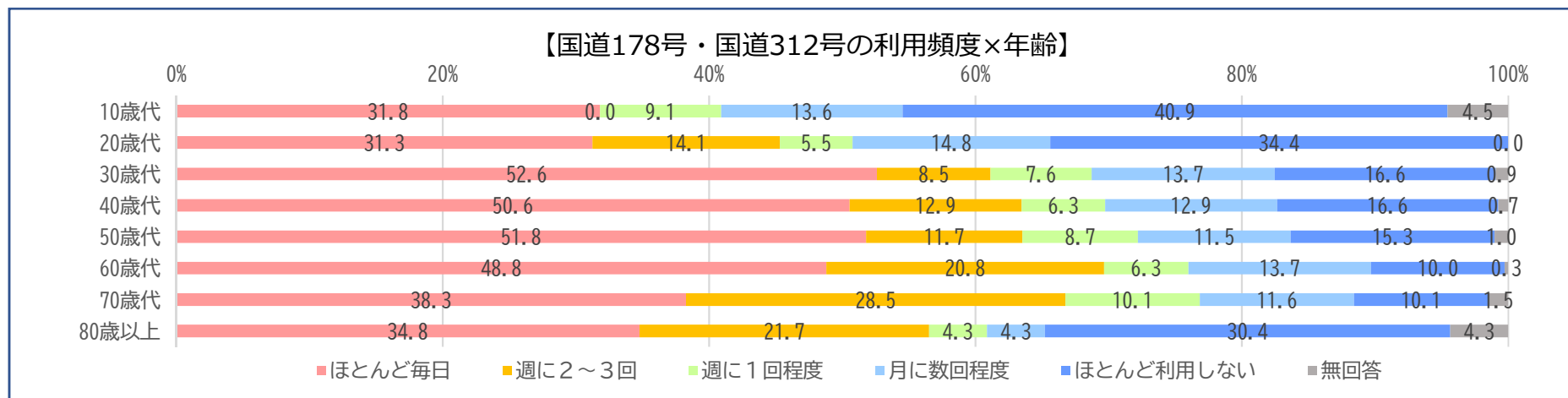
- 国道178号・国道312号の利用頻度は「ほとんど毎日」と「週に2～3回」の合計が約6割を占める。
- 利用目的では、「家事・買い物」が回答者数の約5割、「通勤・通学」が回答者数の約4割を占める。



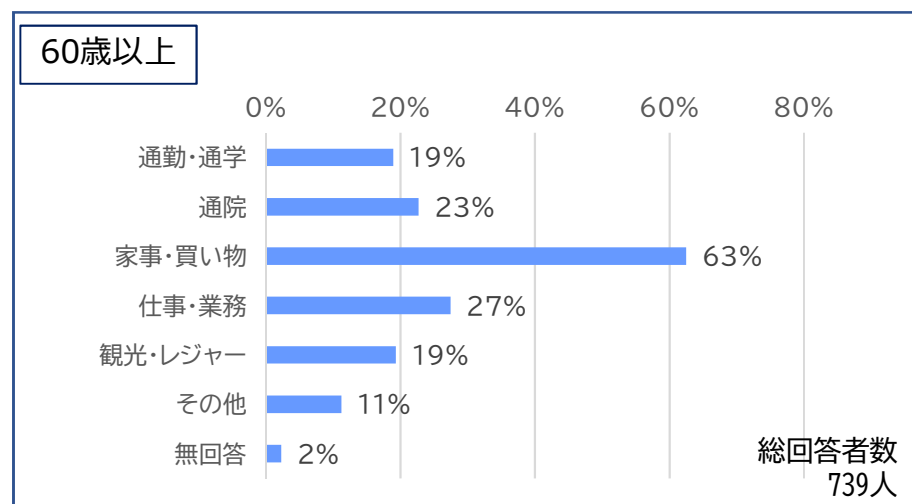
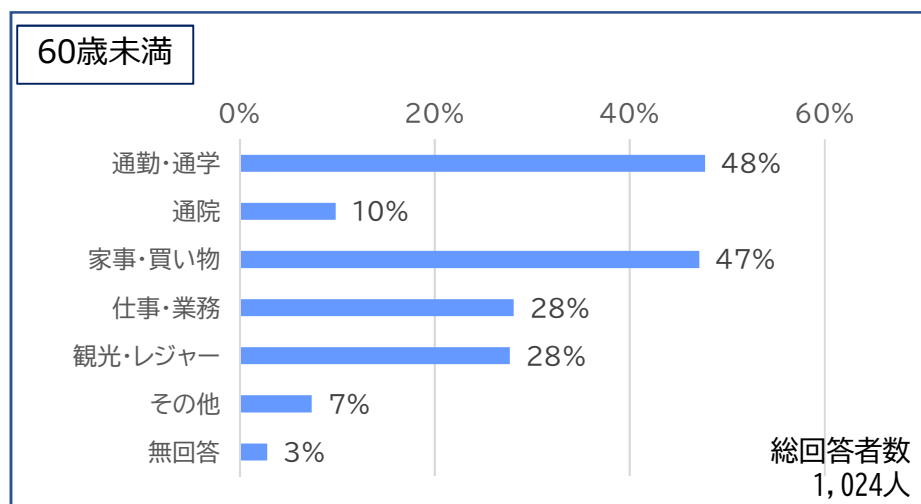
意見聴取結果（回答者の属性③）

■回答の傾向

- 国道178号・国道312号の利用頻度は、「ほとんど毎日」の回答者数が30～50代で半数以上を占めた。
- さらに、その国道178号・国道312号の利用目的として、60歳未満の年代では「通勤・通学」と「家事・買い物」が最も多く回答者数のうち約5割で、60歳以上の年代では「家事・買い物」が最も多く回答者数のうち6割強であった。



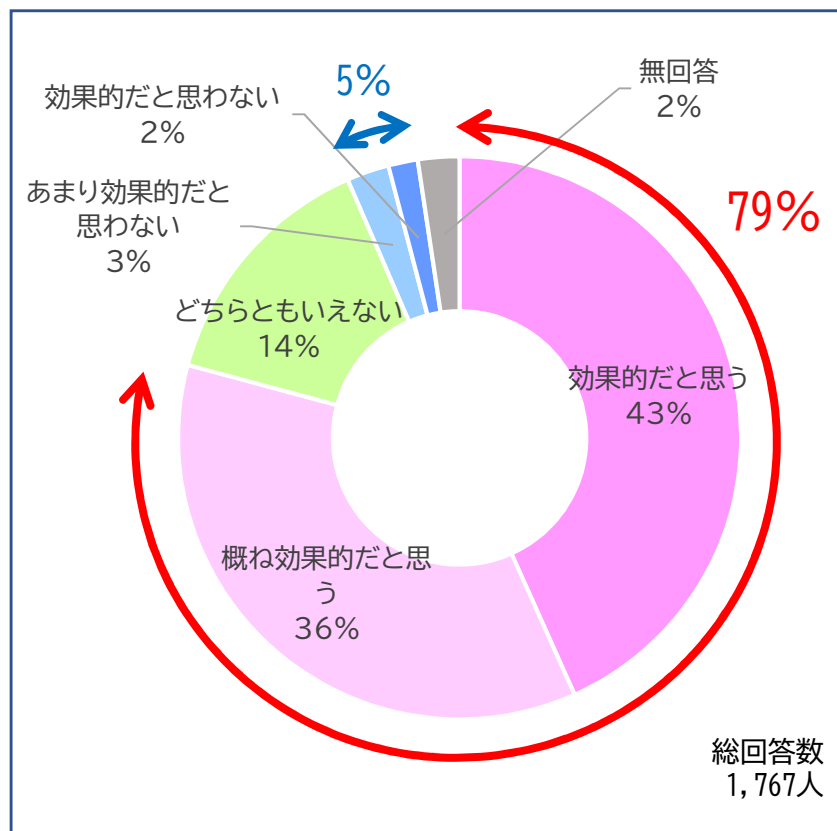
【国道178号・国道312号の利用目的×年齢】



意見聴取の結果（ルート帯案の妥当性①）

- 今回お示したルート帯案について「効果的だと思う」「概ね効果的だと思う」と答えた方が**79%**を占め、「あまり効果的だと思わない」「効果的だと思わない」と答えた方は5%であった。
- 効果的だと思う理由としては、**移動時間の短縮、災害時や観光振興に効果がある**といった意見が得られた。
- 効果的だと思わない理由として、既存の道路で十分、自動車道整備による過疎化の懸念といった意見が得られた。

【ルート帯案の妥当性】



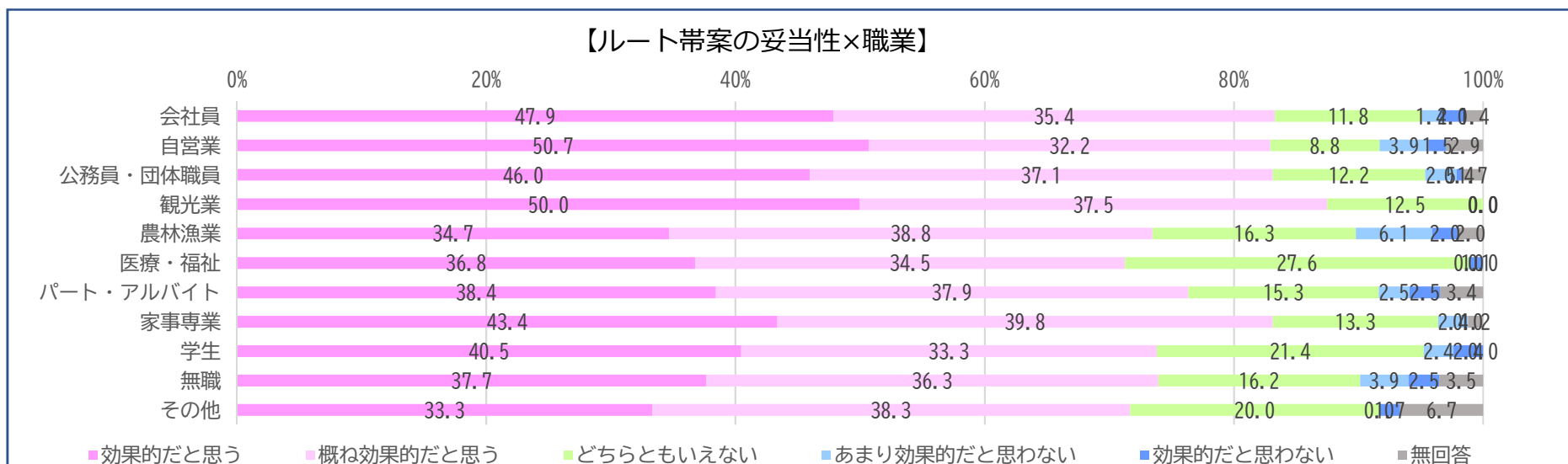
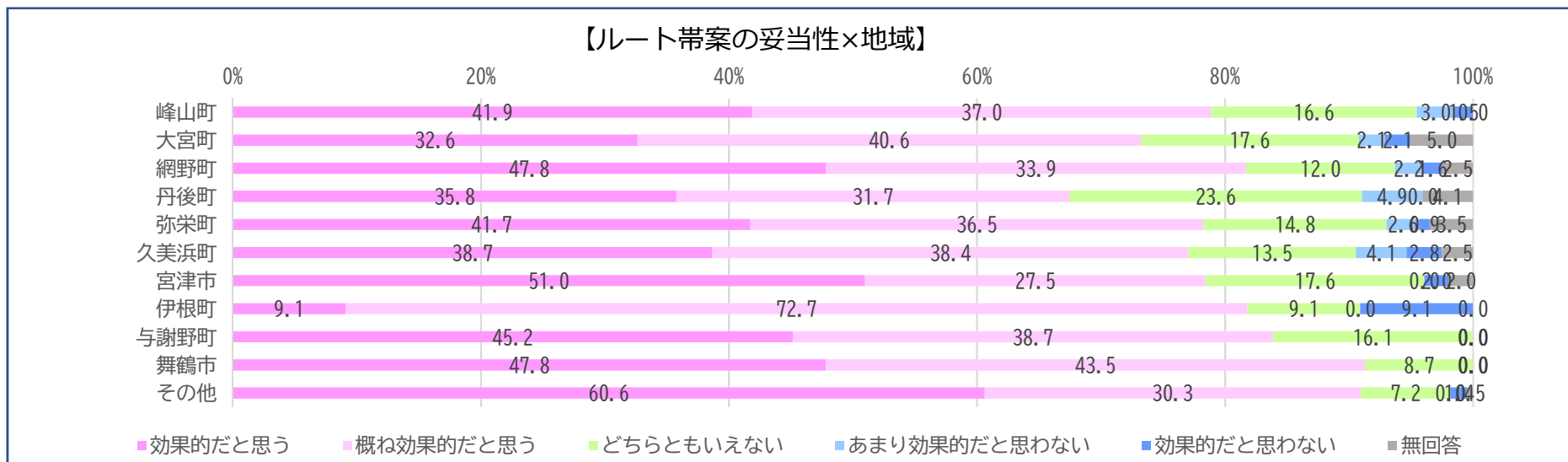
【効果的、効果的でないと思う理由】

分類	主な意見
効果的だと思う (345件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動時間が短縮される。 ■ 山陰近畿自動車道がある事で、交通量も多くなり地域産業にも良いと思われる。 ■ 観光施設へのアクセス利便性の向上による入込客の増加が期待できる。 ■ 生活道路を利用する車両が減り、安全性が向上すると思う。 ■ 救急車での搬送や、観光目的での利用で非常に効果的と考える。
効果的だと思わない (42件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般道の充実で代替可能である。 ■ 地域の過疎化が一気に進むことが懸念される。 ■ いずれのルート帯案も自然環境や景観への悪影響は避けられないと思うため。 ■ 一部現道活用の選択肢は不要だと考える。
どちらともいえない (52件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浜詰等観光地を通りすぎてしまう。 ■ 移動は便利ですが、下道の店舗等は閑散となってしまうのではないかと。

総回答数：439意見

意見聴取の結果（ルート帯案の妥当性②）

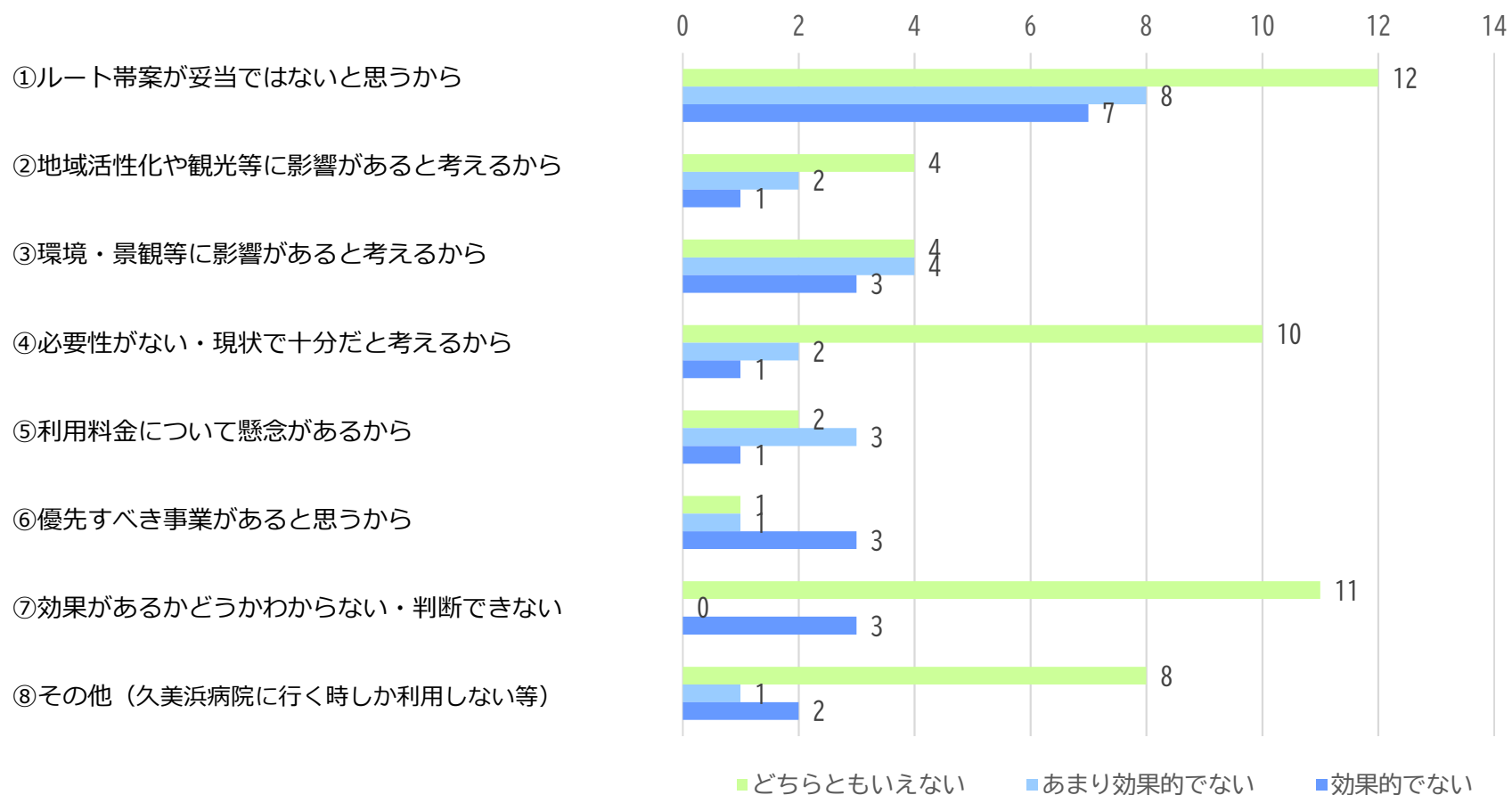
○「効果的だと思う」、「概ね効果的だと思う」とする意見が約7～8割を占めており、地域別や職業別で多少の差はあるものの全体として肯定的な意見が得られた。



意見聴取の結果（ルート帯案の妥当性③）

○ ルート案が「効果的だと思わない」「あまり効果的だと思わない」「どちらともいえない」と答えた方のうち、その理由としては「ルート帯案が妥当ではないと思うから」（27人）、「必要性がない・現状で十分だと考えるから」（13人）、「効果があるかどうか分からない・判断できない」（14人）といった回答が多かった。

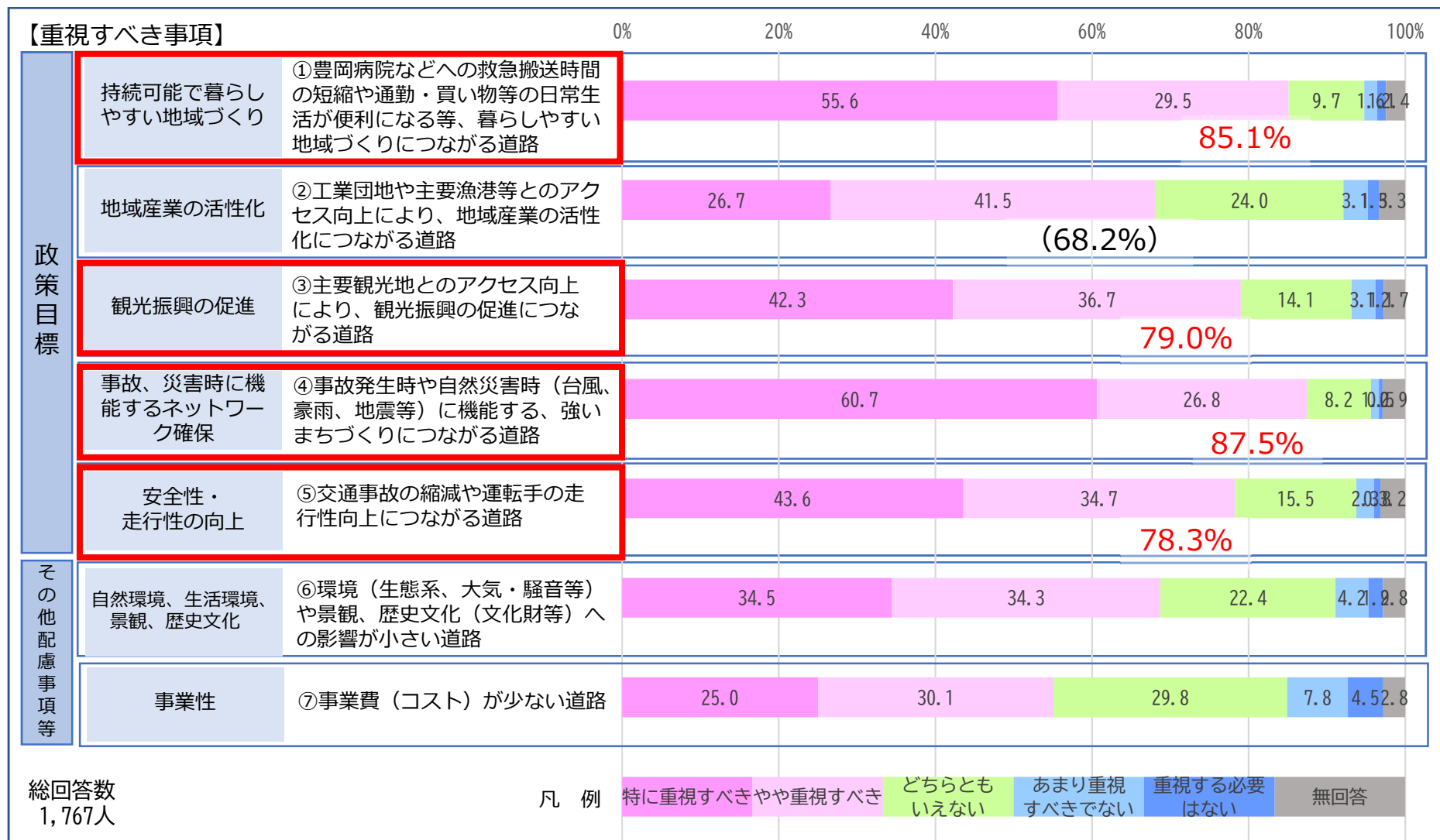
【効果的でないと考える理由】



総回答数：94意見

意見聴取の結果（ルート帯案検討時の重視事項）

○ 重視すべき内容について「持続可能で暮らしやすい地域づくり」、「観光復興の促進」、「事故、災害時に機能するネットワークの確保」、「安全性・走行性の向上」を重視すべきとの意見が多かった。



意見聴取の結果（アンケート自由意見①【配慮すべき事項】）

- ルート帯を検討する際に配慮すべき事項についての自由意見は、延べ401件の意見が寄せられた。
- 求める配慮として「移動手段の利便性の優先」「観光・産業が廃れないようなルートの方策」「但馬地方の観光地との移動の容易性」「災害に強い道路」「雪に強い道路」「景観に配慮したデザイン・構造」「事業費が少ないルートの策定」等といった意見が見られた。

■ 配慮を求める意見 □ その他希望等の意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり (72件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コストがかかっても交通の利便性を求めるべき。(20代男性) ■ <u>地域外からの移動者と地元住民の移動手段の利便性の優先を考慮してほしい。</u>(60代男性) □ 現状をよくする視点より、道路の整備が未来の京丹後市をよくする視点が良い(30代男性)
地域産業の活性化 (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>ただ便利になるだけではなく、今までの(観光)産業が廃れないようなルートにしてほしい。</u>高速道路ができたがために廃れた地域はたくさんある。それを例に地域活性に努めてほしい。(40代男性) ■ 京丹後市の特産物に影響がないように配慮してほしい。(20代男性)
観光振興の促進 (31件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夕日ヶ浦等へのアクセスが大事。ただし国道312号とのアクセスにも配慮が必要(70代男性) ■ <u>城崎温泉等、但馬地方の観光地との移動が容易になるようにすべき。</u>(50代男性) ■ 人口減が今後も見込まれるので観光客誘致に有利なルートとすべき。(50代女性)
事故、災害時に機能するネットワーク確保 (23件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然災害等で使用不可になった時に、早急に復旧できるようにしていただきたい。(40代男性) ■ 丹後半島で地震が発生した場合でも高速道路は走行可能となるよう、<u>災害に強い道路(脆弱な箇所に整備しない)</u>としてほしい。(50代男性)
安全性・走行性の向上 (55件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 冬に積雪があるので<u>雪に強い道路</u>を望みます(60代男性) ■ カーブはなだらかにし、トンネルの高低をへらす。(50代女性) □ 新しく作るのであれば逆走できない出口(40代男性)
自然環境、生活環境、景観、歴史文化 (59件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>海岸線など景観にマッチした(配慮した)デザイン、構造にすべきだと思います。</u>(60代男性) ■ 自然環境豊かなこの地域の特性に配慮してもらいたい。(40代男性) □ 道路ばかりでなく、もっと市税を別な形で有効活用してほしい。開発を進めるのはいいが、環境破壊につながるようなものは不要ではないかと思う。(50代女性)
その他 (145件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 早期完成を優先してルートを検討していただきたい。(70代男性) ■ <u>事業費が少ないルート帯案を検討すべき。</u>(40代男性) ■ <u>維持管理(メンテナンス)が良いルートを選択すべき。</u>対面通行では夜間工事となる。(70代男性) □ インターへのアクセス道路の一体的な整備(60代男性)

意見聴取の結果（アンケート自由意見②【意見・要望】）

- 山陰近畿自動車道の整備に関する自由意見は、延べ502件の意見が寄せられた。
- 「地域の活性化、生活環境の改善につながる」「他府県へのアクセスがスムーズになる」等といった整備による効果に期待する意見が見られた一方、「一般道沿いの店舗が苦しくなる」「環境にもよくない」等といった整備による懸念、配慮を求める意見も見られた。また、その他の主な意見として、早期整備や利用料金、休憩施設の設置に関する意見も見られた。

■ 整備による効果に期待する意見 ■ 整備による懸念の意見 □ その他希望等の意見

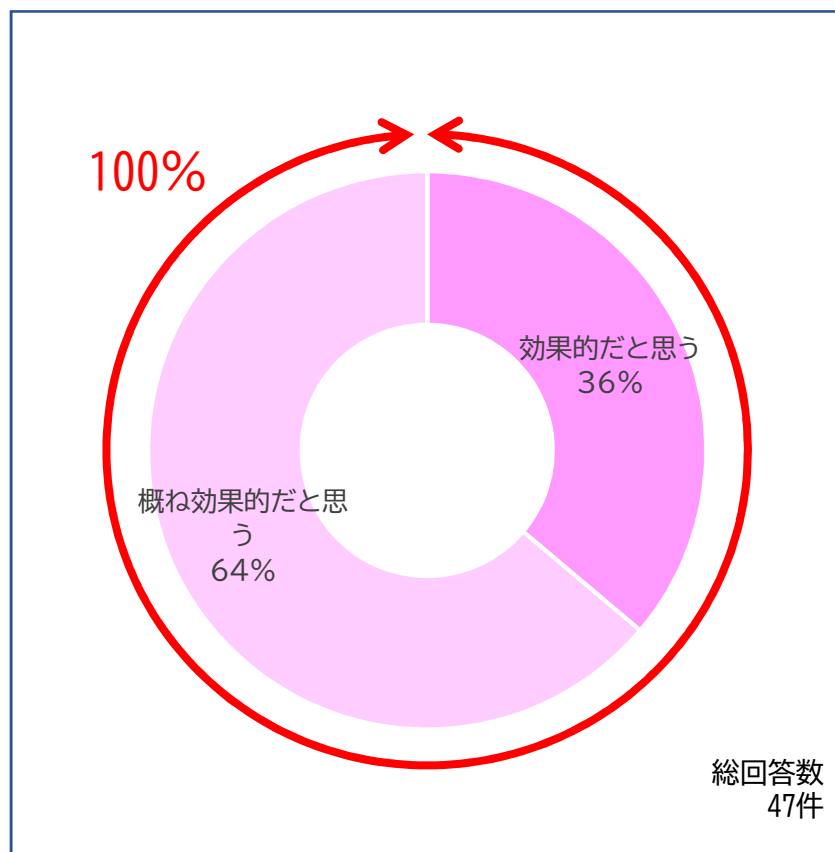
分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり (57件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高速道路網の整備が地域の活性化、生活環境の改善につながる。(50代男性) ■ 地域と交流しやすい、利用しやすい道路にしてほしい。(60代男性) ■ 延伸や豊岡道と直結によって『通り過ぎてしまう』ことを危惧します。(60代男性)
地域産業の活性化 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 流通、交通の面でも自動車専用道路として東西を結び、<u>他府県へのアクセスがスムーズになる</u>ことが効果的だと考えます。(50代男性) ■ 自動車道整備により<u>府道・市道沿いの店舗が苦しくなる</u>のでは。(50代女性)
観光振興の促進 (19件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県外の人達が観光に来やすく、帰りやすい、そんな自動車道の整備だと嬉しいです。(30代女性) □ 観光地と連携して通過されるだけにならないような政策がいる(30代女性)
事故、災害時に機能するネットワーク確保 (19件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 能登半島沖の地震を見て、道路が遮断され物資の運搬に時間を要したことを聞いています。少しでも交通手段の選択肢を増やすことと、耐震がしっかりしている道路を望みます。(40代男性) □ 高速は南側に一経路、北側にも一経路が防災上必要だと思います。(50代男性)
安全性・走行性の向上 (46件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 冬に強い道路。観光シーズンの渋滞、車線数、要検討して頂ければと思います。(50代男性) ■ 事故の起きにくい、走りやすい道路にしてほしい(60代女性) □ 追い越し車線を可能な限り多く作ってほしい。(70代女性)
自然環境、生活環境、景観、歴史文化 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山や自然をなくして無理に便利にするのはあまり好きではないし、<u>環境にもよくない</u>と思います。(20代女性) ■ 夜間の騒音対策をお願いします。(60代男性)
その他 (330件)	<ul style="list-style-type: none"> □ <u>早期の着工と開通を望みます</u>。(60代男性) □ <u>便利でも通行料が高いと利用をひかえる</u>のでそのあたりも考えてほしい。(20代男性) □ <u>由良川PAを過ぎるとSAやPAは一切ない</u>ので、あると望ましいです。(30代男性)

意見聴取の結果（ルート帯案の妥当性） 【団体ヒア】

- 今回お示したルート帯案について「効果的だと思う」「概ね効果的だと思う」と答えた方が100%であった。
- 効果的だと思う理由としては、地域活性化や観光振興に効果があるといった意見が得られた。
- その他の理由として、早期整備や安全性への配慮等に関する意見が得られた。

【ルート帯案の妥当性】

【効果的だと思う理由】

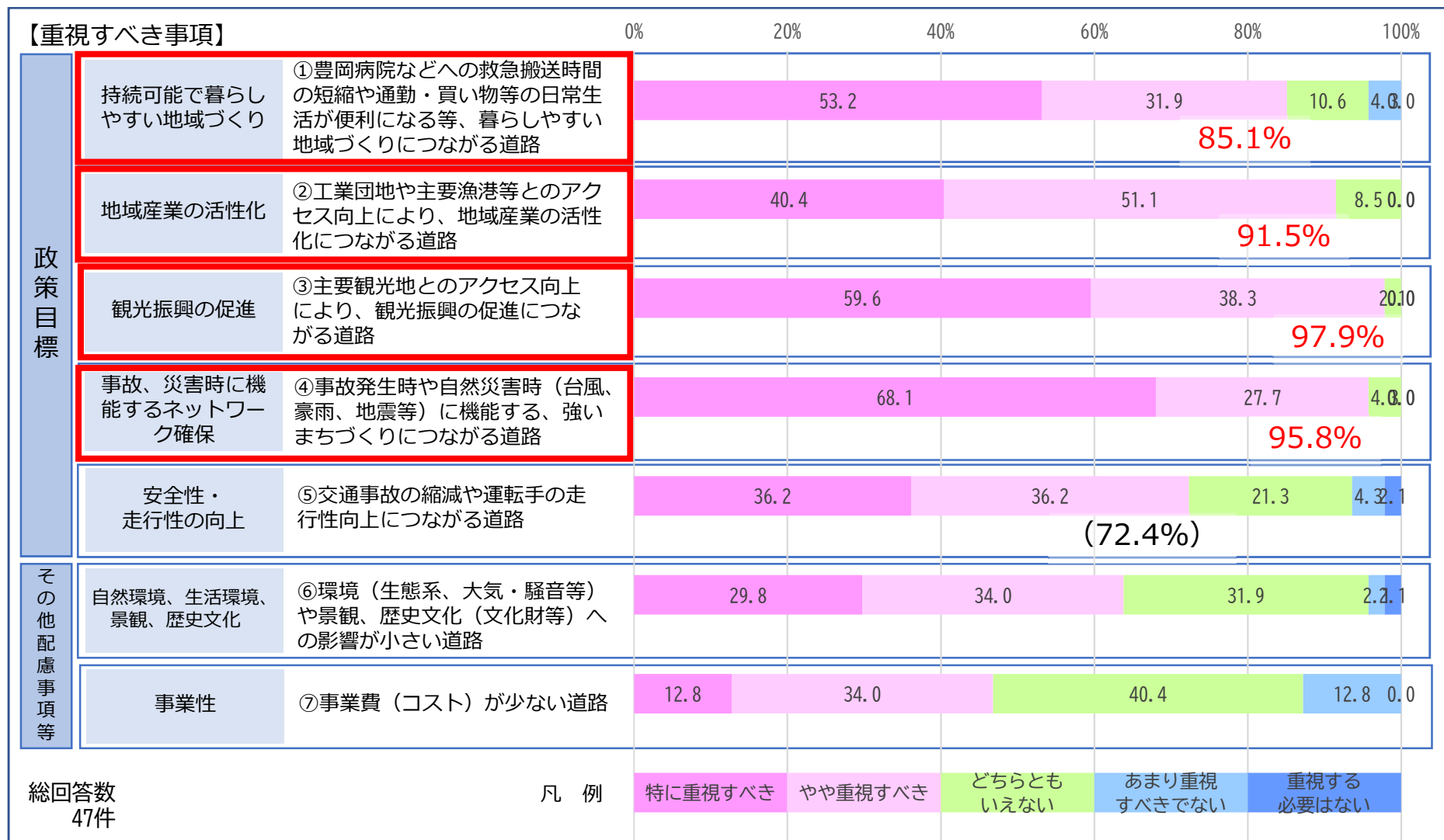


分類	主な意見
効果的だと思う (30件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光拠点である夕日が浦へのアクセスに配慮され、概ね評価できる。 ■ 公立豊岡病院のカバー圏域が拡大し、沿線地域の緊急医療活動が大幅に改善されるため、望ましいと思われる。 ■ 企業立地や来訪者増加による地域産業の活性化や観光振興を加速化していくためにも、ルート帯案のうち第1案が望ましい。 ■ 第2案が望ましいと思います。赤坂工業団地からも近く、観光拠点からも一定の距離感があり、峰山・網野の中心市街地における生活交通にも支障をきたさないと思われるため。 ■ 第3案が望ましいとされる。理由として、事業費が他案と比べて抑えられる。資料では工期の言及がないが、現道の一部活用するルートなので、早期の着工、開通が期待できる。
その他 (20件)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の安全性の向上を希望。 ■ 早期整備可能なルートが望ましい。 ■ 地域の事情に合った波及効果のあるルート設定をお願いしたい。 ■ 高速道路利用が観光客が多いのか、生活用としての地元民が多いのか、ビジネス利用が多いのかにもよるが、夕日ヶ浦温泉へのアクセスに配慮はすべきだと思う。

総回答数：50意見

意見聴取の結果（ルート帯案検討時の重視事項）【団体ヒア】

○ 重視すべき内容について「持続可能で暮らしやすい地域づくり」、「地域産業の活性化」、「観光復興の促進」、「事故、災害時に機能するネットワークの確保」を重視すべきとの意見が多かった。



意見聴取の結果（団体ヒアリング①【配慮すべき事項】）

- 「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する36団体にヒアリングを実施。
- 求める配慮として「交流人口の増加につながるルート」「地震が発生した場合でも、道路の機能が確實機能する道路」「生物の生息環境の確保」「住民に親しまれた施設の移転、文化財の消滅・移転及び地域の分断の回避」等といった意見が見られた。

■ 配慮を求める意見 □ その他希望等の意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり（6件）	■ 延長・事業費にも配慮しつつ、 <u>交流人口の増加につながるルート</u> が望ましい。（観光関係者）
地域産業の活性化（1件）	■ 早期に整備が可能なルートで、観光や物流等の整備効果を最大限に発揮できるルートを検討してほしい。（自治体）
観光振興の促進（1件）	■ 地域の交通利便性の向上や観光振興への貢献が期待されており、技術的な課題や地域住民の意見を慎重に取り入れながら、環境保護や景観への配慮も踏まえた上で、将来的な交通需要に対応できるルート帯案の検討をお願いしたい。（運輸業）
事故、災害時に機能するネットワーク確保（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地震他自然災害が発生した際、緊急車両が通行でき、災害物資や災害復旧用資材がいち早く届けられるようにするための道路づくりが重要。（商工会） ■ <u>令和6年能登半島地震のような地震が発生した場合でも、道路の機能が確實機能する道路</u>になるようなルートが望ましい。（自治体）
安全性・走行性の向上（3件）	■ 観光シーズン（特に夏場）には渋滞が予測されるが、なるべくアップダウンやカーブの少ない線形で整備すれば渋滞の発生を減らせることが出来るのではないかと。（商工会）
自然環境、生活環境、景観、歴史文化（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩衝帯、法面、区域内の未利用地は緑化を図るとともに、<u>生物の生息生育環境の確保</u>に努める。（自治体） ■ 地形や周辺の土地利用状況等を踏まえ、周辺環境への影響を少なくする。（自治体） ■ <u>地域の住民に親しまれた施設の移転、文化財の消滅・移転及び地域の分断を避けるよう</u>努める。（自治体、観光関係者） ■ ルート沿線が山陰海岸国立公園や丹後天橋立大江山国定公園にも指定される風光明媚な景勝地であることに鑑み、周囲の景観を損ねることのないよう道路、橋梁等の構造物の意匠・色合いには十分に配慮してほしい。（観光関係者）
その他（26件）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元自治体、住民の意見も十分踏まえて対応してほしい。（自治体、商工会、観光関係者） ■ 全線開通において早期開通を目指し工事のスピード感を重視してほしい。（自治体、商工会、観光関係者、製造業関連、建設業関連、その他団体）

意見聴取の結果（団体ヒアリング②【意見・要望】）

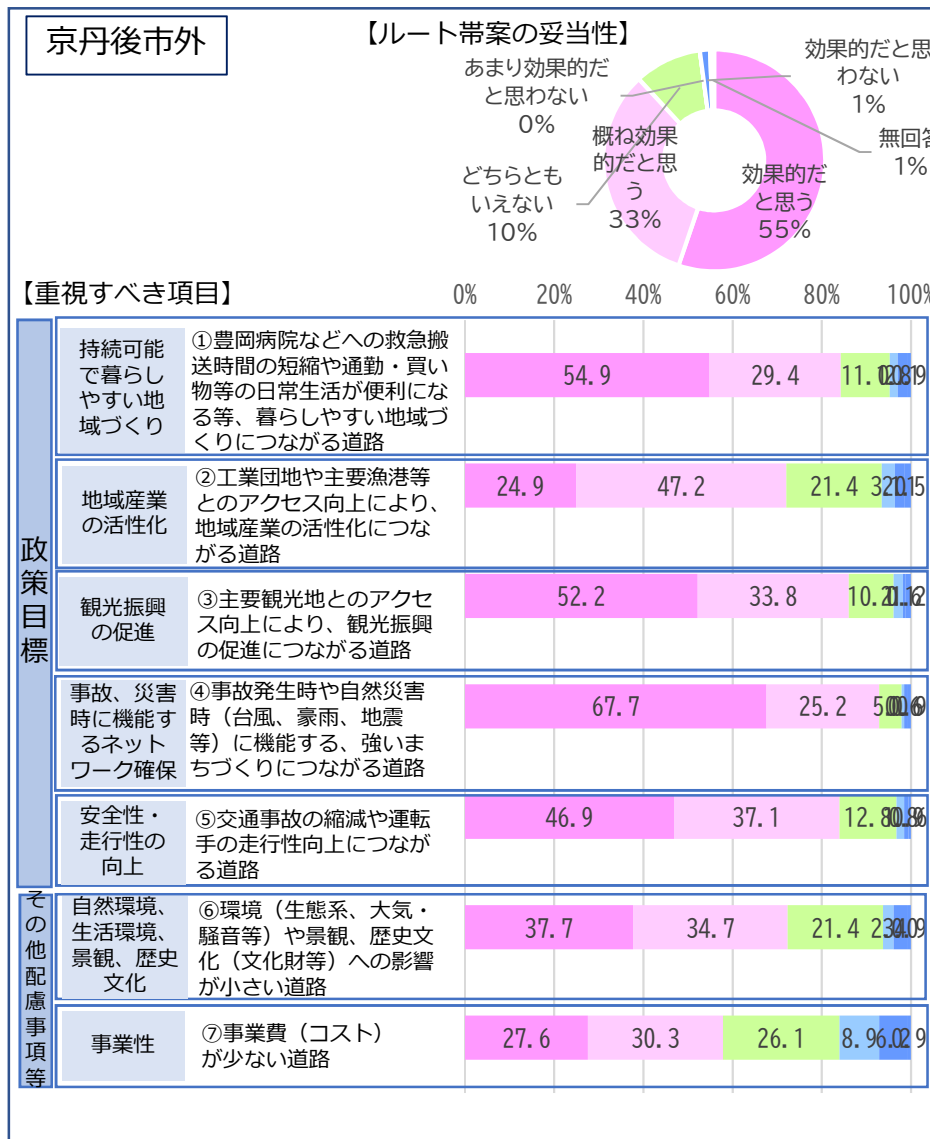
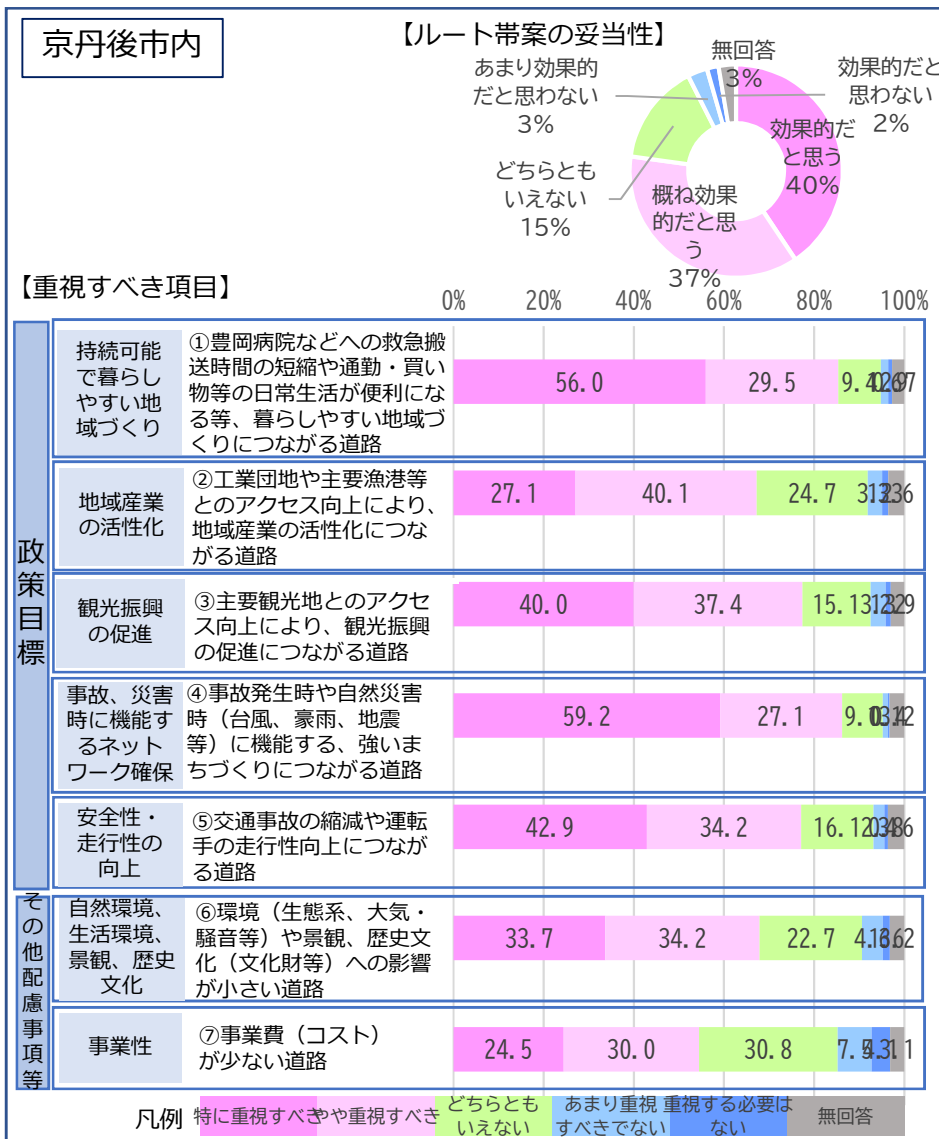
- 「丹後・地域高規格道路推進協議会」に所属する36団体から延べ55件の意見が寄せられた。
- 「沿線地域の活性化や企業誘致の促進、周遊観光の相乗効果が期待」「経済・産業の活性化を図るうえで必要不可欠」「京都縦貫自動車道と連結し災害時の緊急輸送道路として必要不可欠」といった整備に期待する意見が見られた一方、「登下校中の児童の危険性」等といった整備による懸念も見られた。

■ 整備による効果に期待する意見 ■ 整備による懸念の意見 □ その他希望等の意見

分類	意見（抜粋）
持続可能で暮らしやすい地域づくり (4件)	■ <u>山陰近畿自動車道の整備による高速道路ネットワークの構築により、沿線地域の活性化や企業誘致の促進、周遊観光の相乗効果などが期待</u> できることから、早期の全線開通を希望する。（自治体）
地域産業の活性化 (3件)	■ 観光に利便性が良い、工業団地の設置、工場誘致ができるなど、将来性のあるルート設定にしてほしい。（金融業関連） ■ <u>経済・産業の活性化を図るうえで必要不可欠</u> 。（商工会）
観光振興の促進 (4件)	■ 天橋立観光後、城崎に宿泊する人が増加している。この流れを変えていく必要がある。（観光関係者）
事故、災害時に機能するネットワーク確保 (4件)	■ 南海トラフ地震等が懸念される中、 <u>京都縦貫自動車道と連結し災害時の緊急輸送道路として必要不可欠</u> 。（商工会） ■ 高規格道路で日本海側を早期につなぎ、有事の際の逃げ道確保をしてほしい。（商工会）
安全性・走行性の向上 (7件)	■ 渋滞対策にも寄与する。（金融業関連） ■ 一部の下道の交通量が増えると考えられる。 <u>登下校の児童の危険性の配慮</u> 。（その他団体）
自然環境、生活環境、景観、歴史文化 (0件)	—
その他 (33件)	□ 早期の全線開通。（自治体、商工会、観光関係者、製造業関連、金融業関連、運輸業関連、その他団体） □ 料金の適正な設定について十分な検討。（商工会、農林漁業関連、運送業関連、その他団体） □ インターチェンジの箇所や検討状況について早期に示してほしい。（自治体、観光関係者、住民団体代表） □ 追い越し区間や登坂車線の整備を行い速度差のある車両への対策をしてほしい。（自治体、観光関係者、農林漁業関連、その他団体）

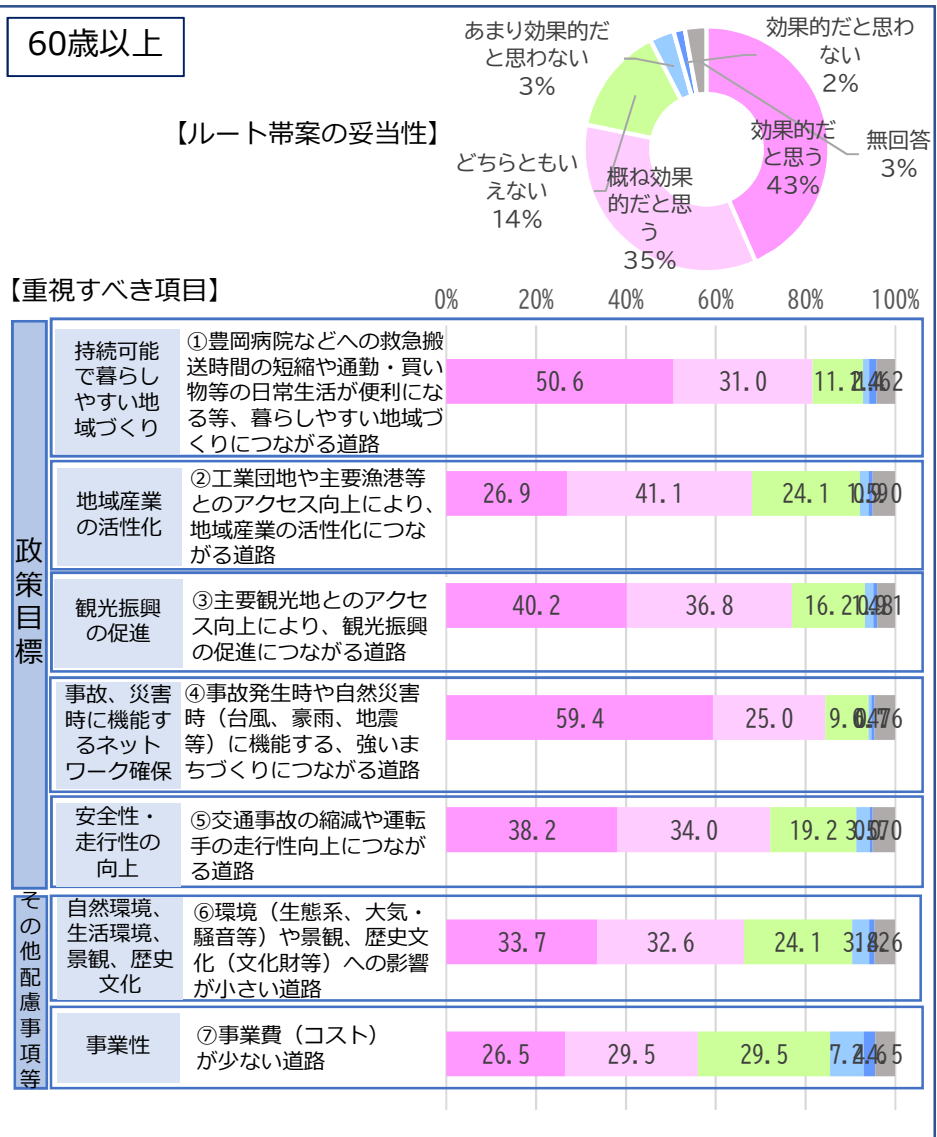
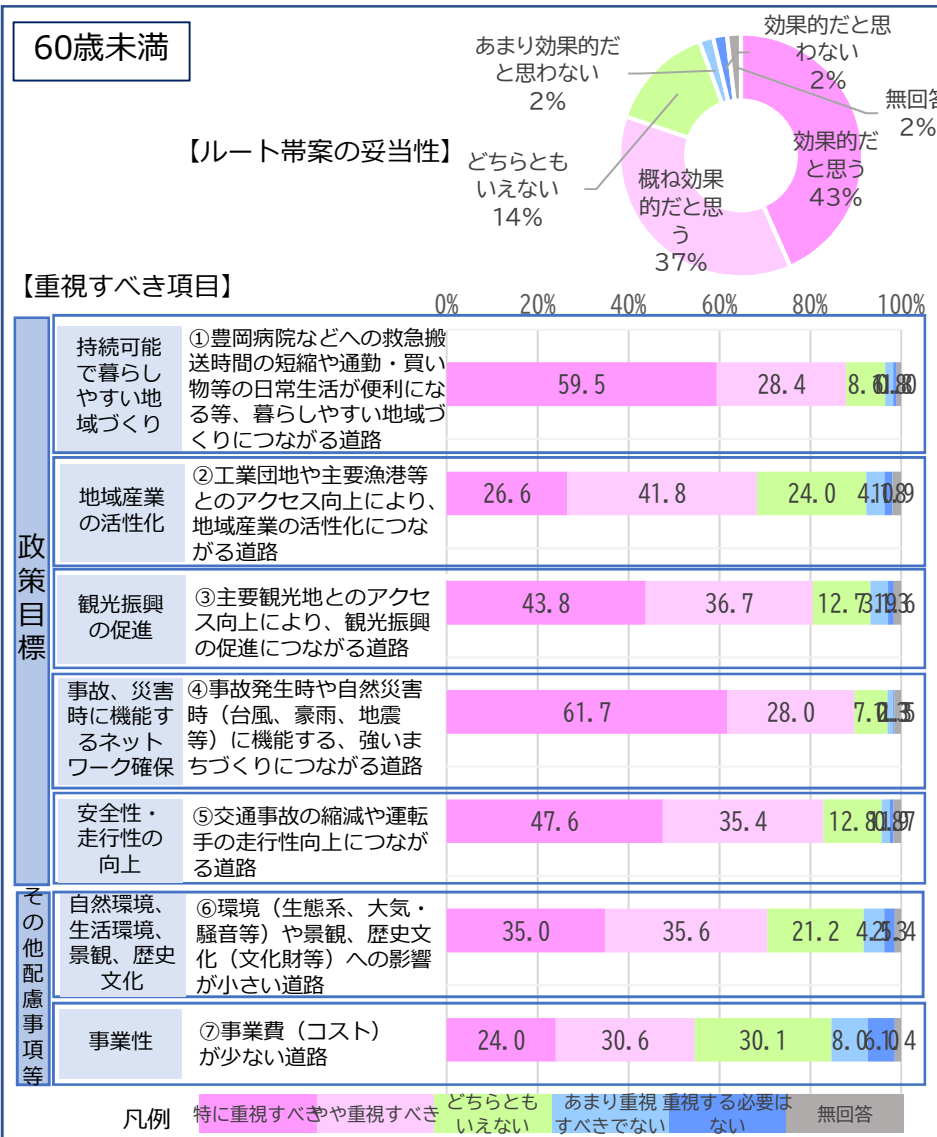
意見聴取の結果（【全体】重視すべき項目）【市内外比較】

○ 居住地を京丹後市内外で比較した場合、京丹後市内に居住されている方は、持続可能で暮らしやすい地域づくり、事故、災害時に機能するネットワークの確保への期待が大きく、京丹後市外に居住されている方は、観光振興の促進、事故、災害時に機能するネットワークの確保への期待が大きかった。



意見聴取の結果（【全体】重視すべき項目）【年齢比較】

○年代別で比較した場合、60歳未満の方も60歳以上の方も、同様に、持続可能で暮らしやすい地域づくり、事故、災害時に機能するネットワークの確保への期待が大きかった。



意見聴取の結果（【全体】重視すべき項目）【一般団体比較】

○ 一般アンケート・団体ヒアリングを比較した場合、アンケートでは、持続可能で暮らしやすい地域づくり、事故、災害時に機能するネットワークの確保への期待が大きく、ヒアリングでは、観光振興の促進、事故、災害時に機能するネットワークの確保への期待が大きかった。

